



夏こそチャレンジ

校長 窪田 俊介

先日、書店で面白そうな本がないか探していると、ある一冊の本の帯に書かれたキャッチコピーが目にとまり、読んでみることにしました。日野田直彦著『東大よりも世界に近い学校』という本で、キャッチコピーには、「はっきり言っている学校のオワコンです」と書かれていました。筆者の日野田さんは、「日本で一番学校説明会に人が集まる」と言われる私立中高一貫校の校長であり、毎年1万人以上の親子が学校説明会に参加しているそうです。日野田さんは、著書の中で、「知識やスキルの習得ばかりに重点を置いている学校は、社会の変化に追いついていない『オワコン』である。学校で身に付けていくべきものは、知識やスキルとともに、自主性・主体性である。そして、自主性・主体性を身に付けさせるためには、子供たちが失敗を恐れず安心して何にでも挑戦できる学校にすべきだ」と述べている点に共感が湧きました。

木津小学校でも、「考えて 心をかたちに チャレンジ」をスローガンに、目標に向かって挑戦することができる子供の育成を目指して各種教育活動に取り組んでいます。1学期を振り返ってみますと、毎日の授業の取組はもちろんのこと、運動会、校外学習、市民体育大会等の行事・大会等において、たくさんの木津っ子のがんばりを感じることができました。特に6年生は、コロナの感染症対策が緩和されたことにより、様々な活動が新たな取組となることが多い中、最上級生としていろいろチャレンジして学校全体をリードしてくれました。挑戦する過程においては、いろいろ失敗することもあると思いますが、人は失敗から多くのことを学び、失敗が人を成長させると考えます。ぜひ、これからもいろいろな面で挑戦し続ける木津っ子であってほしいと思います。

さて、夏休みが始まります。この夏休みの間には、木津っ子の皆さんには、興味のあること、できるようになりたいことに向かって挑戦する夏にしてほしいと思います。勉強やスポーツ、趣味など、たっぷり時間のある夏休みにしかできない挑戦を通して、ひとまわり大きく成長して2学期を迎えてほしいと願っています。

インターネット安全教室 7/10

5、6年生を対象に、警察より講師を招いて「インターネット安全教室」を行いました。とても便利で日常生活には欠かせないツールとなっているインターネットですが、使い方に注意しないと、危険な犯罪に巻き込まれる可能性があるということを、たくさんの具体的な事例を示しながら教えていただきました。夏休みには各ご家庭における、ネット利用のルールを決めていただき、安全で楽しいネット利用となりますようご協力願います。



なお、木津小学校では、1学期に児童会が中心となり、ネットに関するルール「木津っ子ネットルール」を作成しましたので、ぜひご利用ください。

児童の感想文より

ネットに写真などを投稿するときは個人情報を出さないことや、ラインなどで友達と話すときは、ふざけて写真などを送らないこと、使用する言葉で誤解を生むことがあることなどを学びました。私はラインでよく友達と話しているので、今日学習したことを生かして会話しようと思います。

インターネットを使用しているときは楽しくても、裏ではとても怖いことが起こっているかもしれないことが分かりました。これからは、自分のインターネットの使い方を家の人と見直してみたいです。

私は、ネット安全教室の話聞いて、しっかり家のルールを守って、何かあったらすぐに家の人や警察に知らせることが大切なことが分かりました。これからは、ネットを正しく使ってSNSなどのトラブルに巻き込まれないように注意していきたいです。

今日の授業で、ネットの危険さが改めてよく分かりました。インターネットで知り合った人には、絶対に個人情報や家族、友達のことを教えないように気を付けたいです。今日学んだことを生かして楽しく安全な夏休みにしたいです。